

平成 19 年度第 4 回調査・研究部議事録

日 時：平成 19 年 11 月 22 日(木) 14：00～17：00

場 所：地盤工学会 JGS 会館 大会議室

出席者：善部長ほか 24 名

【審議事項】

．前回（H19/9/10 開催）議事録の確認

下記の修正を含め、承認された。

． 3．2）の 4 行目：“岩盤工学委員会の位置づけは今後検討する。”に変更

．全体関係

1．調査・研究部関係規定の変更について

受託研究運営要領，公募型受託研究費取扱要領の変更案が示された．変更点として，管理費を基準部規定に準じ原則 30%程度とする．ただし，必要に応じてその比率について協議できる旨の内容とする（総務部に検討をお願いする）．また，文章中の用語（要領，規定，規程，細則など）が統一されていないので，あわせて修正を行う．

2．平成 19 年度実施計画および 20 年度事業計画，予算案の作成について（メール審議済み）

20 年度収支予算案では，440,000 円程度となっているが，これは，これまで基金から支出されていた電子図書館の管理費 4,070,000 円が新たに調査研究部の支出になったためである．これを除けば 3,600,000 円程度の黒字である．内訳についても例年と同様な予算となっている．

3．二次予算案の検討について

受託・表層地盤情報データベース委員会から，「間接費（事務経費）」から 10 万円を支部の活動費として支出させてほしいとの要請があり議論したが，どのような位置づけの費用なのか不明な点もあり現時点で判断できないため，再度，詳細な内容を報告していただき審議することとした．

．部会・委員会関係

1．委員の構成

1）「（仮称）道路・鉄道・宅地盛土を地震から守るための研究委員会」の委員の構成について承認された（委員長は承認済み）．費用は地震災害企画委員会の予算を充てる．

2）「2007 年新潟県中越沖地震災害調査委員会」の設置について承認された．

2．委員の交代について

1）地山補強土工法の適用・評価に関する研究委員会について下記の委員の交代が承認された．
北浦委員 → 神部委員

2）JGS 岩盤の工学的分類と原位置岩盤物性に関する研究委員会について下記の委員の交代が承認された．

吉田委員 → 福永委員

．研究統括委員会関係

1．「国際競争力向上のための政策と低減」研究委員会の立ち上げについて

現在提案者との調整中（対応継続）．

2．平成 20 年度新設委員会設置に関する調査・研究部案について

現時点で従来型研究会として 2 件の応募があった．12 月開催予定の委員会 WG で検討後メール審議とする．2 月の理事会でテーマ設置および委員長について理事会承認を得る方向で進めること．

3．岩盤分類委員会からの出版要請

現在，事業部で前向きに検討しているとの報告があった．

4．各種委員会の整備について

現在，設置されている各種委員会について，整理分類し，それらの位置づけをクリアにする．予算配分についても見直しを検討する．また，支部主催の委員会に対するインセンティブの与え方についても 12 月開催の委員会 WG で検討すること．

．行事情報委員会関係

1．研究発表会

1）第 43 回地盤工学研究発表会（広島大会）

投稿料および参加料について

- ・審議の結果，前年と同額とすることになった．

DS テーマ申し込みに対する採否について

- ・応募があった 16 テーマすべて採用することとなった．

プログラム編成用分類の変更について

- ・大分類「地盤環境」の中分類について分類しやすいよう項目を増やした．
- ・発表申し込みの際の年齢記入は 35 歳以下かどうかの確認のみとする方向で調整を進めている．

発表・参加の呼びかけ，座長選定等名古屋大会からの引継ぎ事項について

新井部員の提案内容の説明に対して下記の意見があった．

- ・参加呼びかけメールについては，参加の動機付けにつながるような内容とする（例えば，研究会の様子，開催地の名物，観光等）
- ・展望の選定について，State of the art 的な内容として功労賞受賞者の講演などかどうか．講演者には委嘱状を発行する．

2. 情報関係

1) DVD の作成と販売

井上部員より DVD の構成について提案があった．60 周年記念事業としてこれまで地盤工学会で発行した土と基礎，S&F，研究発表会，シンポジウム，その他報告書を DVD にまとめ販売する．制作費，著作権，売上げ金の取扱い等については今後さらに詰めることとするが，DVD 事業の立ち上げについては次回理事会に諮る方向で進める．担当は調査・研究部行事情報委員会とする．

2) 電子図書館システムの今後の方向性について

深田幹事より情報 WG の報告があった．今後の方向性として，DVD 作成，販売が実現すれば電子図書館の有料化よりも低コストでの維持がターゲットになる可能性が高いため，2008 年以降，低コストの新システムに変更することを十分検討する必要がある．一方，広報委員会では，HP の改定について検討されており，また，電子図書館についても IT 環境の一環としてコメントされている．現在 HP のシステムについて検討している NPO 法人にアドバイスをもらう方向で広報委員会をお願いする．

・その他

1) 調査・研究部の体制について

部の規程に従い，研究統括委員会と行事情報委員会の 2 委員会体制とし，それぞれの委員長は桑原理事，武田理事にご担当いただく．11 月の理事会審議事項に挙げる．活動はこれまでの同様．

【報告事項】

・行事情報委員会関係

1. 第 43 回地盤工学研究発表会（広島大会）

1) 技術者交流セッション

現在，日本粘土学会，日本リモートセンシング学会から参加の連絡があり，もう一つとして生態系関係学会に打診している．

2. 60 周年記念事業特別 WG 開催報告

第 44 回地盤工学研究発表会は関東支部協力のもと実行委員会を設置し「地盤工学研究発表会運営細則」に基づいて活動する．また，記念事業特別 WG は休会し，今後実行委員会，調査・研究部会，記念事業委員会の間で対応すべき事項が発生した場合には再開することとし，研究発表会実施に向けてサポートすることとした．

3. 地盤工学シンポジウム開催報告

第 52 回地盤工学シンポジウム開催報告（案）が報告された．収支としては +23,400 円．学生の参加がゼロであり，今後，対応が必要との意見があった．

以 上